

福祉職場説明会調査研究事業アンケート報告書

第2回

【事業所用】

対 象：福祉職場説明会出展法人
(北海道内 126 法人)

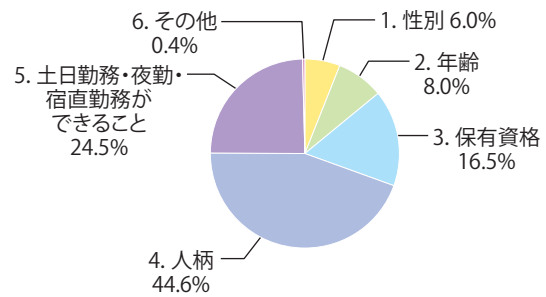
回答数：124 法人

回答率：98 %

実施日：平成 30 年 10 月 4 日(木)

問1 職員を採用するにあたって重視する事をお聞かせください。（複数回答）

「人柄」が111事業所（44.6%）と最も多く、続いて「土日勤務・夜勤・宿直勤務ができること」が61事業所（24.5%）、「保有資格」が41事業所（16.5%）であった。

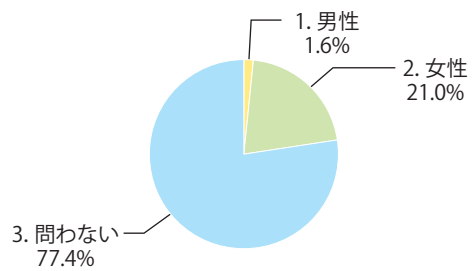


(n = 249)

1. 性別	15	6.0%
2. 年齢	20	8.0%
3. 保有資格	41	16.5%
4. 人柄	111	44.6%
5. 土日勤務・夜勤・宿直勤務ができること	61	24.5%
6. その他	1	0.4%

問2 採用したい職員の性別をお聞かせください。

採用したい職員の性別を「問わない」が7割強を占めた。

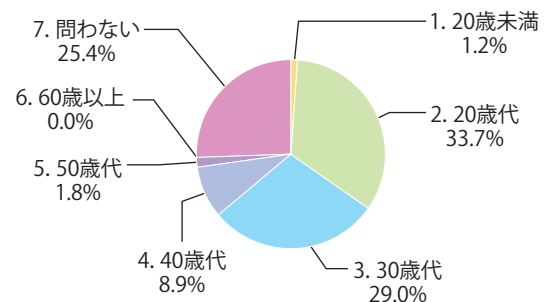


(n = 124)

1. 男性	2	1.6%
2. 女性	26	21.0%
3. 問わない	96	77.4%

問3 採用したい職員の年齢層をお聞かせください。

「20歳代」が57事業所（33.7%）と最も多く、続いて「30歳代」が49事業所（29%）、「問わない」が43事業所（25.4%）であった。



(n = 169)

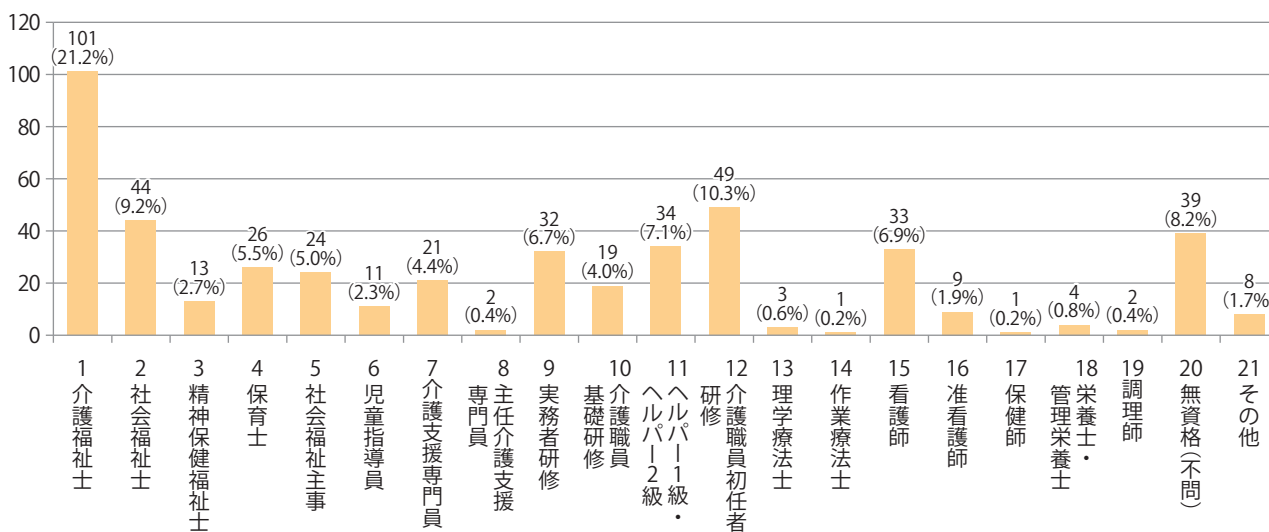
1. 20歳未満	2	1.2%
2. 20歳代	57	33.7%
3. 30歳代	49	29.0%
4. 40歳代	15	8.9%
5. 50歳代	3	1.8%
6. 60歳以上	0	0.0%
7. 問わない	43	25.4%

問4 採用する職員に求める資格をお聞かせください。 (複数回答)

「介護福祉士」が101事業所(21.2%)と最も多く、続いて「介護職員初任者研修」が49事業所(10.3%)、「社会福祉士」が44事業所(9.2%)であった。

(n = 476)

1. 介護福祉士	101	21.2%	12. 介護職員初任者研修	49	10.3%
2. 社会福祉士	44	9.2%	13. 理学療法士	3	0.6%
3. 精神保健福祉士	13	2.7%	14. 作業療法士	1	0.2%
4. 保育士	26	5.5%	15. 看護師	33	6.9%
5. 社会福祉主事	24	5.0%	16. 准看護師	9	1.9%
6. 児童指導員	11	2.3%	17. 保健師	1	0.2%
7. 介護支援専門員	21	4.4%	18. 栄養士・管理栄養士	4	0.8%
8. 主任介護支援専門員	2	0.4%	19. 調理師	2	0.4%
9. 実務者研修	32	6.7%	20. 無資格(不問)	39	8.2%
10. 介護職員基礎研修	19	4.0%	21. その他	8	1.7%
11. ヘルパー1級・ヘルパー2級	34	7.1%			

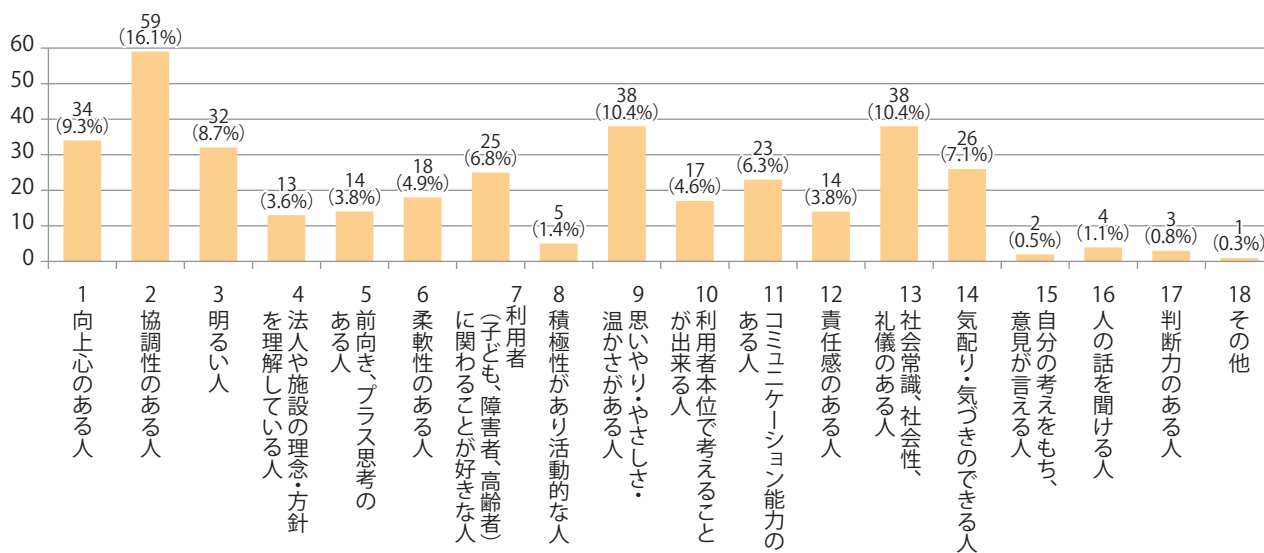


問5 採用する職員に求める人物像をお聞かせください。（複数回答）

「協調性のある人」が59事業所（16.1%）と最も多く、続いて「思いやり・やさしさ・温かさがある人」と「社会常識、社会性、礼儀のある人」が同数の38事業所（10.4%）と続いた。

(n = 366)

1. 向上心のある人	34	9.3%	10. 利用者本位で考えることが出来る人	17	4.6%
2. 協調性のある人	59	16.1%	11. コミュニケーション能力のある人	23	6.3%
3. 明るい人	32	8.7%	12. 責任感のある人	14	3.8%
4. 法人や施設の理念・方針を理解している人	13	3.6%	13. 社会常識、社会性、礼儀のある人	38	10.4%
5. 前向き、プラス思考のある人	14	3.8%	14. 気配り・気づきのできる人	26	7.1%
6. 柔軟性のある人	18	4.9%	15. 自分の考えをもち、意見が言える人	2	0.5%
7. 利用者（子ども、障害者、高齢者）に関わることが好きな人	25	6.8%	16. 人の話を聞ける人	4	1.1%
8. 積極性があり活動的な人	5	1.4%	17. 判断力のある人	3	0.8%
9. 思いやり・やさしさ・温かさがある人	38	10.4%	18. その他	1	0.3%

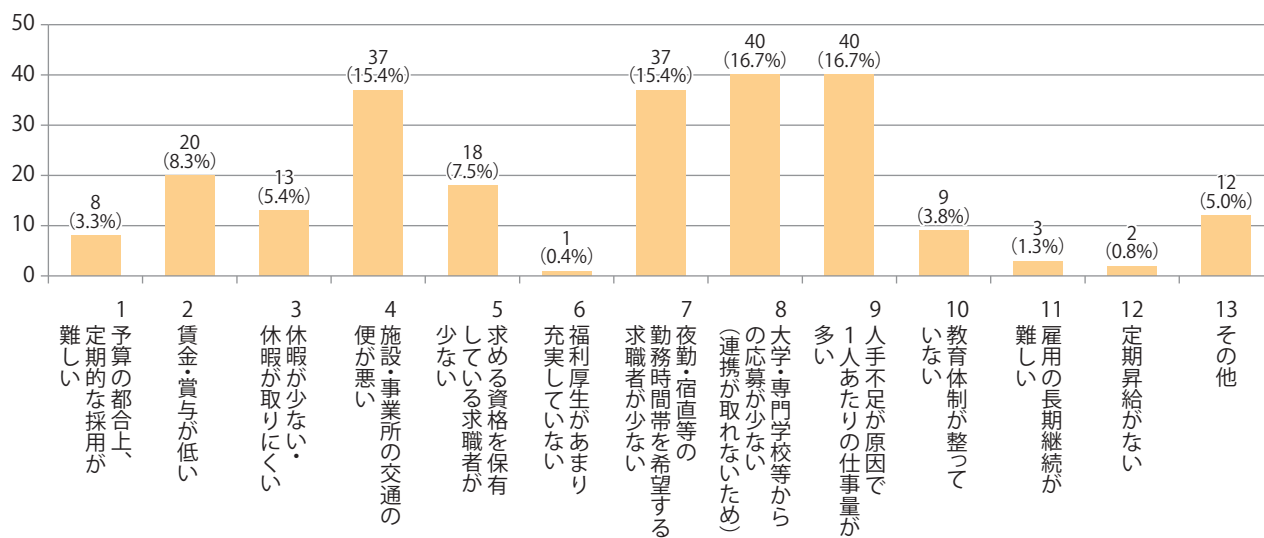


問6 職員を採用するにあたっての課題をお聞かせください。(複数回答)

「大学・専門学校等からの応募が少ない」と「人手不足が原因で1人あたりの仕事量が多い」が同数の40事業所(16.7%)と最も多く、続いて「施設・事業所の交通の便が悪い」と「夜勤・宿直等の勤務時間帯を希望する求職者が少ない」が同数の37事業所(15.4%)と続いた。

(n=240)

1. 予算の都合上、定期的な採用が難しい	8	3.3%
2. 賃金・賞与が低い	20	8.3%
3. 休暇が少ない・休暇が取りにくい	13	5.4%
4. 施設・事業所の交通の便が悪い	37	15.4%
5. 求める資格を保有している求職者が少ない	18	7.5%
6. 福利厚生があまり充実していない	1	0.4%
7. 夜勤・宿直等の勤務時間帯を希望する求職者が少ない	37	15.4%
8. 大学・専門学校等からの応募が少ない(連携が取れないため)	40	16.7%
9. 人手不足が原因で1人あたりの仕事量が多い	40	16.7%
10. 教育体制が整っていない	9	3.8%
11. 雇用の長期継続が難しい	3	1.3%
12. 定期昇給がない	2	0.8%
13. その他	12	5.0%

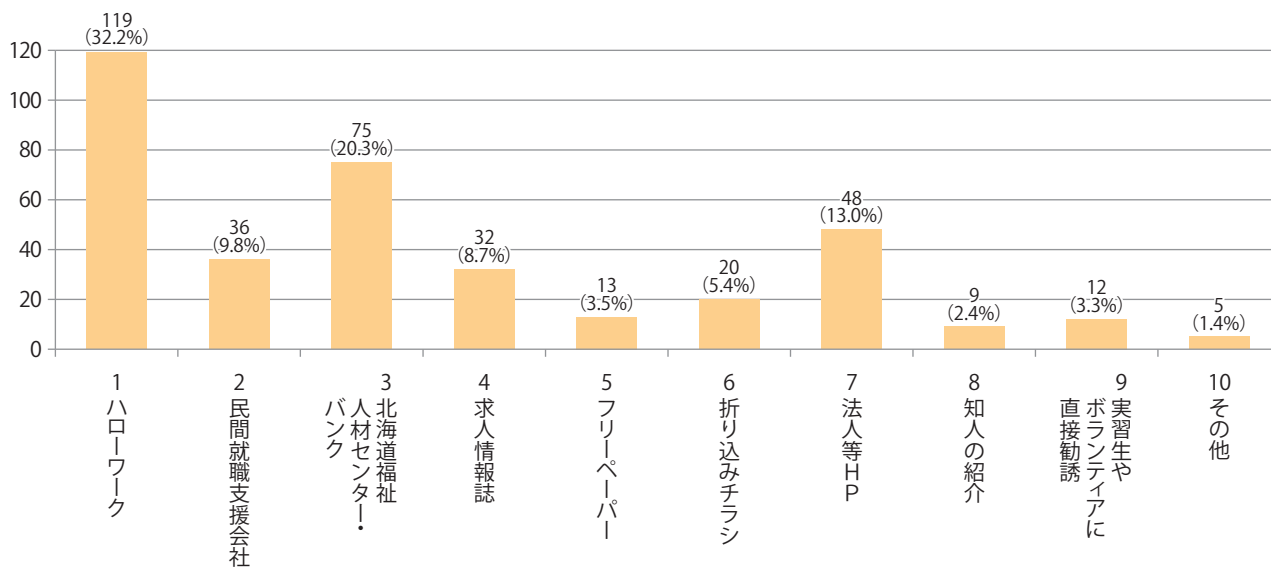


問7 職員募集の際に利用している機関等をお聞かせください。（複数回答）

「ハローワーク」が119事業所（32.2%）と最も多く、続いて「北海道福祉人材センター・バンク」が75事業所（20.3%）、「法人等HP」が48事業所（13%）であった。

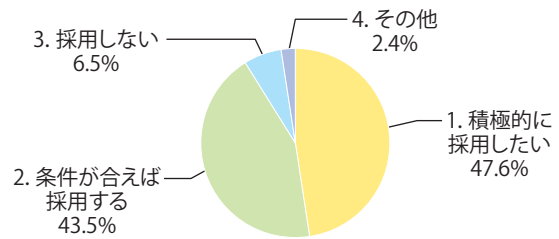
(n = 369)

1. ハローワーク	119	32.2%	6. 折り込みチラシ	20	5.4%
2. 民間就職支援会社	36	9.8%	7. 法人等HP	48	13.0%
3. 北海道福祉人材センター・バンク	75	20.3%	8. 知人の紹介	9	2.4%
4. 求人情報誌	32	8.7%	9. 実習生やボランティアに直接勧誘	12	3.3%
5. フリーペーパー	13	3.5%	10. その他	5	1.4%



問8 高卒者の採用についてお聞かせください。

「積極的に採用したい」が59事業所(47.6%)、「条件が合えば採用する」が54事業所(43.5%)と、合わせると90%以上となった。

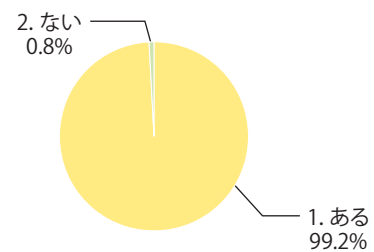


(n = 124)

1. 積極的に採用したい	59	47.6%
2. 条件が合えば採用する	54	43.5%
3. 採用しない	8	6.5%
4. その他	3	2.4%

問9 正職員への転換の有無についてお聞かせください。

正職員への転換の有無が「ある」と回答した事業所が9割以上であった。

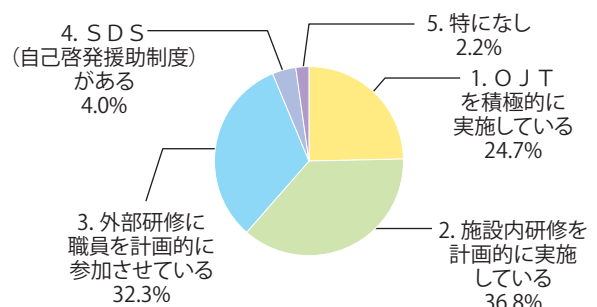


(n = 121)

1. ある	120	99.2%
2. ない	1	0.8%

問10 施設・事業所での研修体制についてお聞かせください。

「施設内研修を計画的に実施している」が82事業所(36.8%)と最も多く、続いて「外部研修に職員を計画的に参加させる」が72事業所(32.3%)、「OJTを積極的に実施している」が55事業所(24.7%)であった。

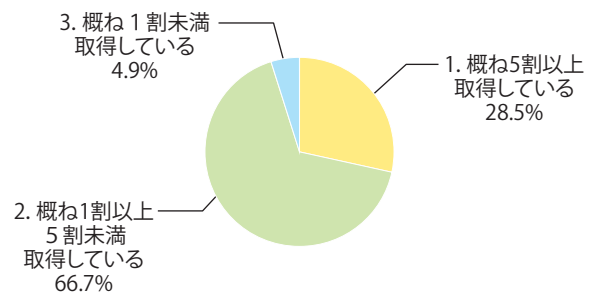


(n = 223)

1. OJTを積極的に実施している	55	24.7%
2. 施設内研修を計画的に実施している	82	36.8%
3. 外部研修に職員を計画的に参加させている	72	32.3%
4. SDS (自己啓発援助制度)がある	9	4.0%
5. 特になし	5	2.2%

問11 職員の有給休暇についてお聞かせください。

有給休暇の取得状況は、「概ね1割以上5割未満取得している」が82事業所（66.7%）で、「概ね5割以上取得している」が35事業所（28.5%）であった。

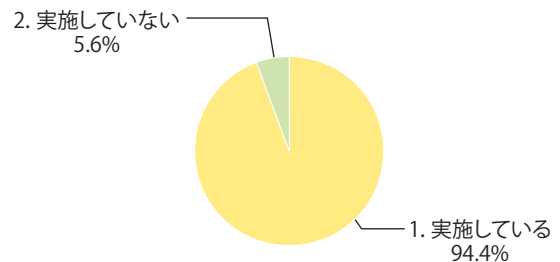


(n = 123)

1. 概ね5割以上取得している	35	28.5%
2. 概ね1割以上5割未満取得している	82	66.7%
3. 概ね1割未満取得している	6	4.9%

問12 正規職員の定期昇給の有無についてお聞かせください。

正規職員の定期昇給を「実施している」が、9割以上であった。

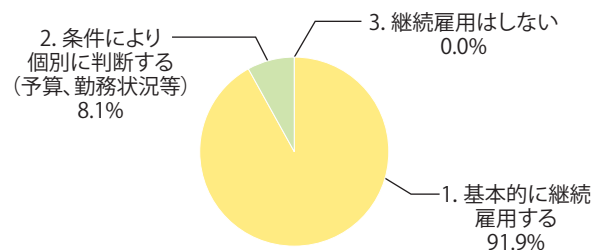


(n = 124)

1. 実施している	117	94.4%
2. 実施していない	7	5.6%

問13 非正規職員（常勤・非常勤・パート）の継続雇用についてお聞かせください。

非正規職員（常勤・非常勤・パート）の継続雇用を「基本的に継続雇用する」が、9割以上であった。



(n = 124)

1. 基本的に継続雇用する	114	91.9%
2. 条件により個別に判断する（予算、勤務状況等）	10	8.1%
3. 継続雇用はしない	0	0.0%